

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	スナゴケの栽培による耕作放棄地解消実証実験事業
事業主体 (連絡先)	小谷村 村長 松本久志 0261-82-2588
事業区分	(2) 農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,113,992 円 (うち支援金: 1,691,000 円)

事業内容

「村が元気! 人が元気! おらが主役!」
 大地の恵みを活かし誰もが住みたい小谷村
 その中で耕作放棄地の解消は大きな課題の一つとして位置づけられている。
 耕作放棄地を利用し、スナゴケを試験的に栽培し、屋上や壁面の緑化材として、その販売まで一連の商品開発を行い、低迷する農林業の活性化に向けた新たな施策として特産品の開発に取り組みたい。



事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・5月 研修視察
先進地山形県にて圃場の視察及び研修。
 - ・6月 圃場となる耕作放棄地の選定。
 - ・7月 圃場の整地。
 - ・同月 スナゴケ菌床の伏せ込み。
地方事務所、小谷村の職員により圃場の400㎡に200枚の菌床を伏せ込む。
 - ・以後週1回程度点検、草刈り。生育順調。
 - ・2月 大雪の下での生育状況確認。極めて順調。
- ※なお本年度はスナゴケの育成を行ったものであり、製品としての可否、省エネ等の事業効果については平成27年度に検証する。

【目標・ねらい】

- ① 伏せ込み、生育
- ② 気候条件下での育成状況検証
- ③ 事業としての可能性の探究
- ④ 次年度以降の事業方針確認

※自己評価【 A 】

【理由】
 小谷村の雪が育成の好条件となることが実証された。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・次年度、スナゴケを収穫加工し、構造物に設置した上で景観確認、温度測定によりその効果を検証する。
- ・費用対効果を具体化し、需要の開拓及び施工業者の選定、圃場を募集し、耕作放棄地の解消と地元業者の業務拡大及び雇用促進を図る。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある